

科目名	経営分析Ⅱ			担当教員	大成 利広
単位	2単位	講義区分		ナンバリング	EI4BUA318
期待される学修成果	情報の分析に関する力、基礎力、				
アクティブ・ラーニングの要素	該当なし				
実務経験	(空白)				
実務経験を生かした授業内容	(空白)				
到達目標及びテーマ	貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書から企業の収益性、安全性、活動性、生産性といった財務諸表の分析を行い、財務面から見た企業の現状を読み取ることができるようになる。さらに、利益計画や企業の総合評価ができるようになる。				
授業の概要	財務諸表から付加価値を算出し、生産性分析を行う。また、損益分岐分析により短期利益計画を行う。最終的には収益性、安全性、活動性、生産性を用いて企業の総合的な分析を行なう。				

授業計画	
第1回	生産性分析(1) 付加価値の意義と算出
第2回	生産性分析(2) 生産性の比率による分析、生産性と収益性の関係
第3回	損益分岐分析(1) 損益分岐点の意義と計算方法
第4回	損益分岐分析(2) 損益分岐点と限界利益
第5回	損益分岐分析(3) 損益分岐図表
第6回	損益分岐分析(4) 損益分岐分析指標
第7回	損益分岐分析(5) CVP分析
第8回	損益分岐分析(6) 固定費と変動費の分解
第9回	企業の総合評価(1) 指数法(ウォール指数法)
第10回	企業の総合評価(2) レーダーチャートとフェース・メソッド
第11回	実際の企業分析(1) 自動車業界 時系列分析①
第12回	実際の企業分析(2) 自動車業界 時系列分析②
第13回	実際の企業分析(3) 自動車業界 クロスセクション分析
第14回	地元企業の分析(1) 岐阜県の企業の分析①
第15回	地元企業の分析(2) 岐阜県の企業の分析②

事前学修	2時間	専門用語や比率の意味及び計算方法をあらかじめ調べておくこと。使用する財務諸表を手に入れて読んでおくこと。
事後学修	2時間	講義内で学習した比率等を使って、就職を考えている企業やその業界の他企業の財務諸表を分析してみること。
フィードバックの方法	単元ごとに理解度チェックテストを行い、授業時に返還し、解説する。	

補足事項	
------	--

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
なし	なし	なし	なし	なし
参考資料				

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
定期試験	80%	付加価値分析や損益分岐点を中心とした出題をし、点数により評価を行う。
上記以外の試験・平常点評価	20%	対象企業の分析についての発表や発言により評価する。